

④ 調査内容 (記入用)

記入日 92. 11. 13

記入者 埴岡 美矢

企業名 中部冷間

担当者名 伊東 弘行

研修員名 金 東翼

I. 研修カリキュラム 別添の通り

II. 現状 (研修員)

- ・経費 (日当、生活費、宿泊料、研修旅費、通勤費、等) 研修員に対して 少額交通費・食費に関する認識の確認
- ・経費上の問題点 特に問題なし
- ・研修内容 (指導方法、研修方法、研修方法 指導方法 マンツーマン  
教材、等) 専門家による講義、関連企業の見学、実習  
教材 専門誌 (「冷間鍛造」「冷間鍛造の実際」他  
仕事のより深い話は困難だが、講義等で理解できない所は
- ・コミュニケーション (日本語) ない。筆談、英語等によりだいたい解決
- ・オリエンテーションプログラム 日本語講義の時間・内容の充実を望む
- ・宿泊 問題なし
- ・日常生活での問題点 (食事) なし
- ・休日の過ごし方 ホームビジット、ボーリング、テニス、学習、小旅行、散歩
- ・その他、問題点 なし

(企業)

- ・経費上の問題点 研修旅行経費に関する手続きを説明
- ・研修内容 (指導方法、研修方法、金型の完成品を見て、工程を理解する事が出来る様にす  
教材、等) るための講義と実習を行っている。
- ・研修態度、意欲 研修態度は非常に良好で熱心。前向きで向上心がある。
- ・コミュニケーション (日本語) 微妙な点で反応が曖昧なので、生活面では支障がないが  
研修での深い理解ができていないかどうかが不安である。

- ・日常生活での問題点 なし
- ・その他、問題点 なし

Ⅲ. 将来的に 企業からみて、技術面、取引面での利益はないが、韓国・韓国人を知るといふ交流的な意味においても非常に意義がある。継続を望みたい。という企業側の積極的態度が見られた。

Ⅳ. 入国管理上の問題点 なし

- ・日本人従業員（総数） 25名
- ・JICA研修員以外の外国人労働者数 0名
- ・研修員の労働（研修）時間、及び昼休み 研修時間AM8:30~PM6:00 昼休み12:15~13:00
- ・研修内容 別添の通り

Ⅴ. 最終評価 研修員は企業自体と人間関係の理解がある程度出来、成果があったと評価をしていたが、企業側はテーマの設定とカリキュラムの詰め甘さを指摘していた。少人数の企業で比較的、交流面でも研修面でも良好な成果を上げていると言える。

(備考)

情報不足のため研修員の水準にあった研修が出来なかった。韓国や韓国人に対する予備知識

・情報がほしかった。企業に対するオリエンテーションが必要。（企業からの要望事項）

## 展覧

### 前略

此の度は、韓国技術者の研修について、皆様には御協力をお願いし大変恐縮しております。先般、研修日程について御連絡しましたが、その際の受け入れについて気付いたことを申し上げますので、宜しくご配慮下さりたくお願いいたします。

### 記

1. 危険と思われる作業はさげ、ケガの無いようにして下さい。
2. なるべく研修員の希望に合わせて指導して下さい。
3. 交通事故の無いように、気を付けて下さい。
4. 言葉はあまり通じないと思いますので、実務での指導を優先して下さい。
5. 変わったことがあったら、御連絡ください。
6. 研修員の送迎などは中冷で行ないます。
7. 研修員名        金 東翼        (26才)        大学卒  
                         私 フウウ
8. 研修目的        鍛造技術全般について

以上

1992. 9. 18.

中部冷間（株）

- ① 別日程に訪問
- 訪問先:
- ・ 佐藤精二 (金谷)
  - ・ 福岡純彦 (表面処理)
  - ・ 内田敏彦 (ハート- 機械組立)
  - ・ 杉浦三孝 (熱研鍛造)
  - ・ 木村一孝 (大冶)
  - ・ 719222=7117 (792X-D-)
  - ・ 柴田三孝 (冷研鍛造機械組立)

中部冷間工の進捗研修

1992. 9. 26

毎日の予定

37号

9 ~ 10 現場

10 ~ 12. 事務所

13 ~ 14 現場

14 ~ 17 事務所

(現場)

(勉強ポイント)

ポイント : 工場の様子を見る

: 段取替へ

金型 : 段取替(4220)の時

外に金型が型構成を見る

製品 : どうして出来たのか

(工程数、各工程の形状)

(事務所)

韓国及日本の部品 工程設計

金型設計

技術研修

① 図面をみる

② 教へてもらう

日付	研 修 項 目	研修実施場所	宿泊先
9/24 (木)	東京より研修員到着		西武ホテル
9/25 (金)	冷間研修生 基礎知識	中部冷間(通称)	↑
9/26 (土)			
9/27 (日)	休日		
9/28 (月)		中部冷間(通称)	
9/29 (火)	冷間研修生 基礎	↑	
9/30 (水)			
10/1 (木)			
10/2 (金)			
10/3 (土)	休日		
10/4 (日)			
10/5 (月)	冷間研修生 冷間工学概論	中部冷間(通称)	
10/6 (火)		↑	
10/7 (水)			
10/8 (木)			
10/9 (金)			
10/10 (土)	休日(土曜日の日)		
10/11 (日)			
10/12 (月)	冷間研修生 表面知識概論	中部冷間(通称)	
10/13 (火)		↑	
10/14 (水)			
10/15 (木)			
10/16 (金)			
10/17 (土)	休日		
10/18 (日)			
10/19 (月)	冷間研修生 冷間工学概論	中部冷間(通称)	
10/20 (火)		↑	
10/21 (水)			
10/22 (木)			
10/23 (金)			
10/24 (土)	休日		
10/25 (日)			
10/26 (月)		中部冷間(通称)	

日付	研 修 項 目	研修実施場所	宿泊先
10/27 (火)	冷間研修生 基礎知識		西武ホテル
10/28 (水)		↑	
10/29 (木)			
10/30 (金)			
10/31 (土)			
11/1 (日)	休日		
11/2 (月)		中部冷間(通称)	
11/3 (火)	休日(文化の日)	↑	
11/4 (水)			
11/5 (木)			
11/6 (金)			
11/7 (土)	休日		
11/8 (日)			
11/9 (月)	冷間研修生 基礎知識	中部冷間(通称)	
11/10 (火)	(延期旅行)	↑	
11/11 (水)			
11/12 (木)	中部冷間(通称)	中部冷間(通称)	
11/13 (金)	中部冷間(通称)	中部冷間(通称)	
11/14 (土)	休日		
11/15 (日)			
11/16 (月)	中部冷間(通称)	中部冷間(通称)	
11/17 (火)		↑	
11/18 (水)			
11/19 (木)	中部冷間(通称)	中部冷間(通称)	
11/20 (金)		↑	
11/21 (土)	休日		
11/22 (日)			
11/23 (月)	休日(勤労感謝の日)		
11/24 (火)	3カ月初修員東京へ移動		
11/25 (水)	東京にて既婚式、披露パーティー		
11/26 (木)	3カ月初修員帰国		
11/27 (金)	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
11/28 (土)	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		

※ 連絡表 ※

1. 受入先

社名:	中部冷間株式会社
社名英語名:	CHUBU REIKAN CO. LTD
住所:	(〒444) 愛知県岡崎市針崎町字フロロ2番地
最寄り駅名:	JR岡崎 駅
代表者氏名:	菅沼 汎
契約責任者氏名:	菅沼 汎
銀行名:	三井 銀行
口座番号:	420169
担当者氏名:	伊藤 弘行
所属部署名:	事務 取締役
電話番号:	0544(51)1659

5  
No. 50  
Kagawa  
↑

期間: 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

II)

宿舎名:	
住所:	(〒 )
食費:	朝食 円、昼食 円、夕食 円
宿泊費 (茶泊):	円/泊・人
最寄り駅名:	駅

3. 研修場所

期間: 平成 年 11 月 9 日 ~ 平成 年 11 月 11 日

I)

研修先名称 (工場名等):	アイトエンジニアリング株式会社
住所:	(〒220) 神奈川県横浜市長谷2番10号
最寄り駅名:	JR 磯浜線 橋本 駅
責任者氏名:	広津 孝也

2. 宿泊先 (貴社の駅または最寄りのビジネスホテル等)

期間: 平成 4 年 9 月 24 日 ~ 平成 4 年 11 月 23 日

I)

宿舎名:	ビジネスホテル 平成
住所:	(〒444) 愛知県岡崎市上地3丁目 52番地2
食費:	朝食 円、昼食 円、夕食 円
宿泊費 (茶泊):	6,500 円/泊・人
最寄り駅名:	JR 岡崎 駅

II)

研修先名称 (工場名等):	
住所:	(〒 )
最寄り駅名:	駅
責任者氏名:	

\* 貴社の会社概要パンフレット等も添付いただければ幸いです。

J I C A 宛研修旅行計画書  
《第 9 次韓国技術者研修計画》

現在	研修機関名	中部冷間株式会社		
	所在地	〒444 愛知県岡崎市針崎町字7012番地 ☎ 0564 (51) 1659		
	最寄り駅名	JR 線 岡崎 駅		
	担当者	氏名 伊藤弘行 (所属 ) ☎ 0564 (51) 1659		
研修旅行期間	平成 4 年 11 月 9 日 ~ 平成 4 年 11 月 11 日 ( 2 泊 3 日 )			
研修旅行先 1	訪問先名	アイ・エス・ピー株式会社		
	所在地	〒 神奈川県横浜市長谷町10号 ☎ 0427 (72) 5231		
	訪問先までの移動行程	JR (岡崎) 駅名等 → [ 東海道線 ] 移動手段 → JR (豊橋) 駅名等 → [ 新幹線 ] 移動手段 → (新横浜) 駅名等 → [ 横浜線 ] 移動手段 → (橋本) 駅名等 ( 駅名等 ) → [ 移動手段 ] ( 駅名等 ) → [ 移動手段 ] ( 駅名等 ) → [ 移動手段 ] ( 駅名等 )		
	最寄り駅名	横浜 線 橋本 駅		
	宿泊先	宿舎名 橋本ホテル (一泊 6000 円) ☎ 0427 (74) 2100		
	宿泊期間	平成 4 年 11 月 9 日 ~ 平成 4 年 11 月 10 日 ( 2 泊 日 )		
研修旅行先 2 ※旅行先が 2 つある場合	訪問先名			
	所在地	〒 ( ) ☎ ( )		
	訪問先までの移動行程	( 駅名等 ) → [ 移動手段 ] ( 駅名等 ) → [ 移動手段 ] ( 駅名等 ) → [ 移動手段 ] ( 駅名等 ) ( 駅名等 ) → [ 移動手段 ] ( 駅名等 ) → [ 移動手段 ] ( 駅名等 ) → [ 移動手段 ] ( 駅名等 )		
	最寄り駅名	線 駅		
	宿泊先	宿舎名 (一泊 円) ☎ ( )		
	宿泊期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 ( 泊 日 )		
備考				

別添 2

No. 1

研修生番號：

1. 氏名 金 東 翼 (英文： KIM, DONG IK )					
2. 生年月日 1965年 5月 15日		年齢( 26 )		性別( 男 )	
3. 最 終 學 歷					
學 校 名		在 學 期 間		專 攻 科 目	
GUMI 金島 工科 大學		1985年 3月 1989年 2月		機械工學	
4. 職 歷					
勤務先名(業體名)		勤務期間	職 位	職務内容	勤務先の種類 (政府企業, 民間企業, 政府, 民間企業, その他)
現職	(株)宇振工業	1991年 5月 - 現在	社員	技術開發	民間企業
前職	(株)南信産業	1986年 6月 1991年 3月	係長	品質管理	
5. 言語能力：〈良〉 〈可〉 〈不可〉を記入して下さい					
區 分	讀 む	書 く	話 す	聞 く	
日 本 語	不 可	不 可	不 可	不 可	
英 語	可	可	可	可	
6. 韓國の研修申請業體現況					
業體名 (英文)	(株)宇振工業 (WOO JIN INDUSTRIAL CO, LTD)		代表者名 (英文)	金 光 台 (KIM KWANG TAE)	
住 所	大邱直轄市達西區梨谷洞 1000-11		電話番號	053-581-6111	
主生産品	自動車 部品	資本金	₩ 300 百萬	従業員數	48 名
7. 研修希望 期間及び 時期					
		○ 3個月 ( 0 )		6個月 ( )	
		○ 6月出發 ( )		9月出發 ( 0 )	



## 8. 研 修 内 容

## (1) 研 修 分 野

COLD FODGING

## (2). (1)項の詳細及び 具体的な研修希望内容 (優先順位でご記入下さい)

1. 金型設計
2. 熱処理, 潤滑
3. PRESS 機械
4. 量産技術

## . 日本内 研修希望企業

業 種 名	中部冷間(株)	代表者名 (擔當者名)	菅沼汎 (佐東弘行)
住 所	岡崎市針崎町字加十二番地	電話番号	0564-51-1639
10. 上記 研修希望企業との関係			
技術提携 (        )        資本合作 (        )        取引 (去來) 先 (    ○    )			
11. 上記 研修希望企業との受容協議與否			
既受容合意 (        )        現在協議中 (    ○    )        無又はその他 (        )			

I-3-(9) 7.

第9次韓国技術者研修中間評価アンケート



## 第 9 次 韓 国 技 術 者 研 修 計 画 中 間 評 価 ア ン ケ ー ト

### 1. 研修について

#### (1) 水準

	人 数	%
低過ぎる	0	
	9	
適当	43	
	19	
高過ぎる	0	

#### (2) 密度

	人 数	%
暇	1	
	10	
適当	52	
	6	
忙しい	2	

#### (3) 内容 研修希望内容に・・・ (4) 受入先の方は良く指導してくれましたか。

	人 数	%
合っている	16	
	30	
少し合っている	22	
	2	
全然合っていない	0	

	人 数	%
非常に良く指導してくれた	16	
	35	
普通	16	
	3	
全然指導してくれなかった	0	

#### (5) 研修について問題点等、意見があれば教えてください。

- ・日本の企業は技術を積極的に見せてくれない
- ・保守的である
- ・自分の研修に関連ある企業を見学したい
- ・単純労働をさせられる(2名)
- ・世界最高水準の技術をもっていると感じた

- ・経費の説明を企業に徹底して欲しい（2名）
- ・適当な研修とはいえなかったが日本語の勉強になった
- ・研修資料が少なかった
- ・とても楽しくおもしろかった
- ・具体的な研修日程がなかった（3名）
- ・研修内容が予めわからないため希望する研修が出来なかった
- ・実質的な研修のスケジュールの準備ができていなかった（3名）

2. 日常生活について

(1) 研修場所での人間関係は良い (2) 食生活で問題はありますか。ですか。

	人数	%
非常によい	17	
	28	
普通	23	
	1	
非常に悪い	0	

	人数	%
無い	15	
	24	
少し有る	12	
	5	
非常に有る	1	

(3) 宿泊施設で問題はありますか (4) 言葉の問題で不便を感じますか。

	人数	%
無い	29	
	24	
少し有る	12	
	5	
非常に有る	1	

	人数	%
あまり感じない	7	
	18	
少し感じる	35	
	11	
非常に感じる	0	

(5) 日常生活で問題が有る場合は具体的に書いてください。

- ・研修に適した宿の決定が望ましい
- ・交通便が不便で困った（3名）
- ・対話に不便を感じた（5名）
- ・天候について十分な準備が出来なかった

- ・食事が不便（5名）
- ・物価が高い
- ・国際電話が不便（2名）
- ・ホテルの部屋に冷蔵庫、TVなど設備が不十分で不便だった

### 3. JICAオリエンテーションについて

(1) JICAのオリエンテーションは、その後の滞日生活や研修に役立っていますか。

	人数	%
非常に役立っている	5	
	32	
少し役立っている	29	
	4	
全然役立っていない	0	

(2) JICAのオリエンテーションに追加したほうが良いと思うものがあつたら書いてください

- ・日本の生活習慣、礼儀（4名）
- ・日本の食べ物紹介
- ・日本の中小企業の未来の経営方向
- ・ホームステイ（3名）
- ・日本人との対話希望
- ・研修受入企業の担当者との事前面会希望
- ・日本映画の鑑賞
- ・韓日関係の歴史
- ・ASEANの歴史
- ・日常生活ガイドの時間追加（4名）
- ・グループ別（研修別）のオリエンテーション実施
- ・日本語学習時間を増やす（8名）
- ・研修旅行の日程を延ばす
- ・日本語学習場所は同じ場所にしてほしい
- ・日本語宿題希望

(3) JICAのオリエンテーションについて何か意見があれば書いてください

- ・JICAの宿泊施設の利用希望
- ・ビジネスホテルよりは研修施設の方が適当（2名）
- ・工場見学の回数を増やす
- ・食事が不便（2名）
- ・工場見学の時間が足りない
- ・各自の専門分野別の工場見学希望
- ・日本の文化や伝統に触れる機会希望
- ・研修企業での研修終了後に1週間程度のオリエンテーションを実施
- ・日本語クラスの構成人数を5、6人にする
- ・全レベルの教科書配布希望

氏名(英字) \_\_\_\_\_

〃(漢字) \_\_\_\_\_

研修先企業 \_\_\_\_\_

中間評価アンケート

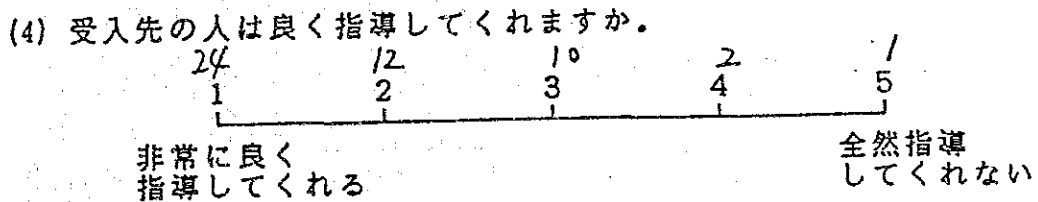
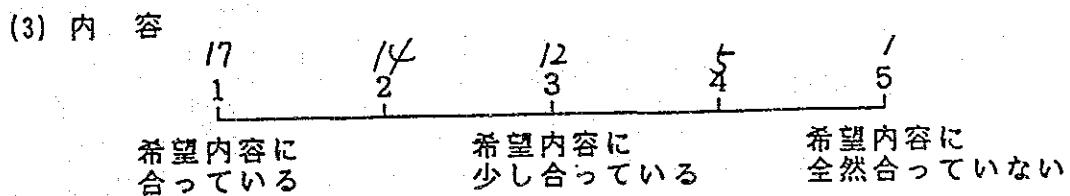
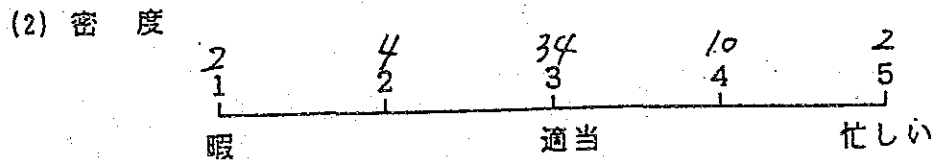
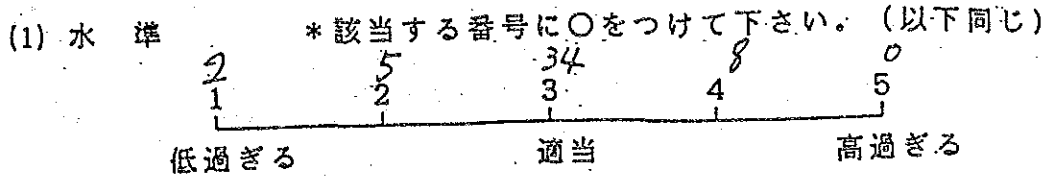
1991 12.02 集計  
(49人分)

未提出者(17人)

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪  
⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔  
④⑧ ⑤⑩ ⑥⑪ ⑦⑫ ⑧⑬

このアンケートは、10月中旬に記入し、  
10月25日までにJICAの担当者まで  
郵送してください。

1 研修について



(5) 研修について問題点等、意見があれば書いてください。

良かった 1 寒い 1

---

問題なし 15 生活費共に行担当員を押しにくい

---

担当者からよく相談する時間の短縮が= 3

---

日本語による会話が困難だった。(困った) 3

---

企業の関心と指導を求む 1

---

資料が豊富で研修に役立つ 2

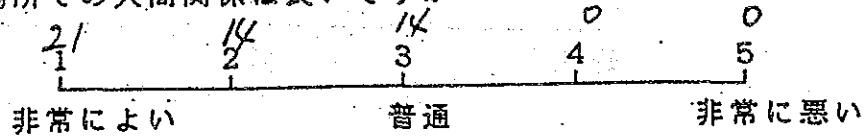
---

会社の方が親切 1

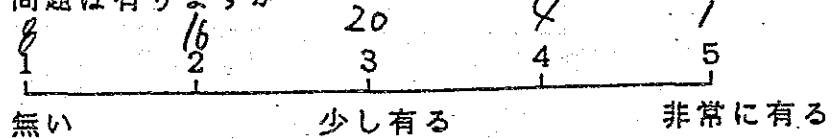


2. 日常生活について

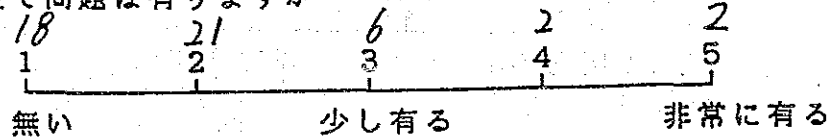
(1) 研修場所での人間関係は良いですか



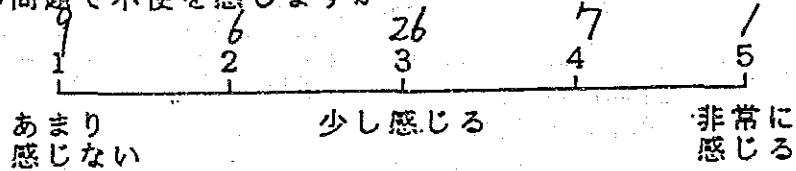
(2) 食生活で問題はありますか



(3) 宿泊施設で問題はありますか



(4) 言葉の問題で不便を感じますか



(5) 日常生活で問題が有る場合は具体的に書いてください。

- 問題なし 11 1線国際TELがたかい 2
- 食バ物があわない 5. 交通が不便 2
- 寮のゴミが冷たい 1 宿泊施設がたかい 1
- X=2-0の流がたかい 1 車賃手続 交通宿泊地少額交通等
- 日本語がききわかれ 2 一括支給を望む 1
- 研修生同志の非常連絡会同の作成・配布を望む 1
- 日本側企業の社員と日常生活を共にしたい 1

3. JICAオリエンテーションについて

(1) JICAのオリエンテーションは、その後の滞日生活や研修に役立

っていますか

11	15	21	2	0
1	2	3	4	5

非常に役立っている

全然役立っていない

(2) JICAのオリエンテーションに追加したほうが良いと思うもの

があったら書いてください。

なし 1

満足(良好) 5

日本の交通に於て教習が欲しい 1

日本の文化同習がほしい 1

日本の生活に於て詳しく教習が欲しい 2

工場見学が " 1

日本人の若者の考えを知りたい 2

観光が " 1

日本人の生活習慣の紹介が不足 2

日本人の生活がオトイ(ホムステイビリティ) 3 日常会話の教育 1

日本語/会話時間の延長 2 専門用語を教習が欲しい 1

バスの移動の方向に 日本語/会話のTAPES・VTR放送 1

歴史館や博物館の見学が欲しい 1 期間が短い 1

(3) JICAのオリエンテーションについて何か意見があれば書いてく

ださい。

良かった 8

関係者の皆様に感謝 1

日本語会話中心の教育を望む 2

日本語学習の時間の増加 2

TLC JICA center での日本語学習が欲しい 2

日本の大学生・会社員との話し合いの時間が欲しい 1

研修先についての地理的・歴史的説明が欲しい 1

専門にあつた工場見学を教習が欲しい 1

研修旅行の日程・内容の事前情報が欲しい 1

3ヶ月の研修に必要な事をもっと教習が欲しい 2 (XNUMXの方法、日本の研修事

オリエンテーションプログラムについてのアンケート  
 主な意見 1/2

(4) 講義の中で良かったと思うところ	
《JICA ブリーフィング》	
1. 韓国語による説明	4
2. 全体的によかった	4
3. くわしい説明がよかった	4
《滞日ガイダンス》	
1. 日本での生活が不便なく送れる基礎的知識	6
2. たのしい講義	3
3. 全体的によかった	2
4. 豊富な韓国生活に基づいた日韓の差についての講義	2
5. 日本人との対人関係	1
6. 韓国語による講義	1
《日本の地理と風土》	
1. 日本の地理と風土の特徴	3
2. 全体的によかった	2
3. 日本の人口と気候	2
4. 韓国語による説明	1
5. 豊富なデータ	1
6. スライド	1
《日本の文化》	
1. 全体的によかった	5
2. 日韓化の理解	3

オリエンテーションの主な意見

2/2

(4)

3 日本 <sup>の</sup> 歴史と国民性の説明	3
4 歴史的・民族的側面からの比較説明	2
5 日韓の考え方の違い	2
6 韓国語による講義	1
《日本の経済》	
1 全体的によかった	6
2 日本とアジアの比較	2
3 日本経済の現状と課題	2
4 日本経済の原動力の原因となつたものがわかった	1
5 韓国語による講義	1
《日本の中小企業》	
1 全体的によかった	9
2 日本の中小企業の位置・特徴	4
3 内容が充実していた	3
4 日本人の勤務姿勢	1
5 日本の経済の原動力の原因を知るのに役立った	1
6 中小企業の役割り及び必要性	1
7 データーの十分な準備	1

オリエンテーションプログラムについてのアンケート  
主な意見

1/2

(5) 講義の中で 不満な点、その他意見	
《 JICA プリーフィング 》	
1. 責任者のあいさつがなかった点	1
2. 時間が足りなかった	1
《 滞日生活ガイド 》	
1. 時間が足りなかった	6
2. 日本のマナー エチケット 秩序などを説明する時間がなかった。	1
《 日本の地理と風土 》	
1. 内容が不十分だ	2
2. 地域的特性や 歴史的地名の説明望む	2
3. 準備された資料が少なくて見にくかった	1
《 日本の文化 》	
1. 時間がたりなかった	2
2. もっとくわしく説明してほしい	2
3. 日韓比較が片よっていふ傾向がみられる	1
4. 韓国語がわかりにくかった	1
5. 日本と韓国と中国の歴史的背景説明がなかった	1
6. 大衆文化の紹介説明が全然なかった	1
7. 内容にもりあがりなかった	1

オリエンテーションプログラムについてのアンケート。

7/2

(5)

《日本の経済》	
1. 内容が 必ずかしすぎた。	4
2. 内容講義に 盛りあがりがない。説明不足	4
3. 質問に対する 適切な回答が得られなかった。	1
《日本の中小企業》	
1. 時間が たりなかった。	4
2. もう少し 詳しい内容を望む	1
3. 中小企業の研究活動についての 内容を 追加してほしい。	1
4. 日本語による講義	1

9/30(金)  
14:00~16:00

ICSC 島田MS. 1~2名

ト一班  
森下CDN 1/4

### 《日程全体について》

1. コーディネーターに感謝
2. 食卓場所、内容について一番困った。
3. ホテルの部屋の移動が多く大変だった。(4回)
4. 見学は全体的に時間不足。
5. 空港出迎えにより不安解消とよかった。

### 《講義》

1. 全体的によかった。
2. 「生活ガイダンス」時間が不足。
3. 「日本の地理と風土」  
内容が概念的。実地的な、日本での生活に  
役立つ情報が欲しい。視聴覚教材はよかった。  
講義が5つに限られるので、滞日生活に役立つ  
ものが、研修に役立つ内容の方が望ましい。
4. 「日本の中小企業経営」  
5講義、中々最も役立つ内容だった。  
技術者、現場の立場からの「日本の中小企業」の  
講義がぜひ取り入れらることを望む。
5. 全講義を聞いて  
1講義 3時間は長かった 3人  
J度よい 19人

《都内ツアー》

4時間で3ヶ所は 非常に時間的な  
余裕がなかった。形式的なものだった。

時間を長くするか

コースの内容の検討が 必要。 (講義式 40%  
本日は 60%)

《工場見学》

- 研究員の専門にあつた工場見学を希望
- 大企業中心の見学も重要だが  
中小企業の工場見学をも希望
- 4回は打たないか もう少し工場見学を  
増やしてほしい。

「富士通」

- 対応が良かった。
- 質疑応答に誠意ある説明。

「SONY x ティアワールド」

- 展示会場なので 工場見学の 籠 ちゆうに入らぬ。

「清水鋼鉄」

- 町工場的な工場。新しい技術がみられた。

「アイレックス」

- 移動時間(2時間)に比べ 見学時間(20分)  
がみじかく、通称女子だけの見学に不満
- 企業秘密が多く 質問に答えてくれず 不満。



金曜日に。之グループに今日の見学場所は 遠く工場  
機械と電気など分野別に工場見学してく  
れると、期をみる工場見学ができる。

- 移動時間が長かった (富田通/アイルランド/高松線)  
日に2ヶ所工場見学するとか、工業団地内の  
他の工場へ見学するとか工夫してほしい。

○ 晴見や 幕張などの 展示場をみるのもいい方法だ。

### < 日本語研修 >

- たのしく自由な雰囲気での学習はよかった。
- 教室内でのみの学習でなく、外に出て日本語を  
使った実践教育(切符の買い方 etc)があるとよい。
- 工場見学などで授業的な日があったか。  
少しづつでも毎日学ぶのが重要。時間をずらしても  
毎日学ばたい。

★ 日本語の song festival について。

- TICの研修員が中心で疎外感を感じた。
- 所長の採点表の英語のスピーチは日本語で  
やしてほしい。
- 採点の基準が「はっきりせず」(110フォーマンスか?  
日本語力か?) 気分を害した。

o Song festival の意図・運営方法が充分な情報として与えられなかったのは残念だ。  
 4 しかし、日本語の勉強になるので 日本語の歌を学ぶのは有益だ。

★ JICA側からの質問

Q 《韓国技術者研修》について 《今後どうしたらいいか?》

- o 従来予定の1200人受入れ達成した後もつづけてほしい。
- o 持来は日本から韓国に受け入れを方向に努力したい。

★ 研修員からの質問

Q1 JICAとAOTSと受け入れ担当をどのように決めようか?

A1 基本的に JICAとAOTSの話し合い  
 受け入れ企業により決まることもある

Q2 AOTSは研修旅行や 都内勉強が多いと聞か?

Q3 AOTSは日本語研修をしない(お昼(予備のため)の1時間の時間に旅行を入れているのだから)

希望 ホームステイを希望  
 無理なら ホーム モジットを希望してほしい。

4班・評価会

研修番号  
(22~44)

JICA(大連)

担当(ND) 遠田

<日程全体について> (ホテル等)

- 1. 部屋の移動を、なくして欲しい (部屋の種類に伴う荷物移動に、非常に疲れた)
- 2. シングルが良い (個人の時間が持つ) 約15人  
ツインの数が良い (広い、情報交換が出来る) 約7人
- 3. 正午(お昼の時間) ホテルを使用するおしとして欲しい
- 4. コーディネーターに感謝

<講義について>

- 1. 全体の構成は良かった。
- 2. 『生活ガイダンス』 ⑦ 一回では足りない。時間を増やして欲しい
- 3. 『日本の地理と歴史』 ⑦ 視覚的資料が多かったことについて  
⑧ 地方色と地産比較を対象とした内容を聞きたい。  
⑨ 講義では歴史民俗博物館等の見学のあつ、より効果的ではないか
- 4. 『日本の文化』 ⑧ 良かった。
- 5. 『日本の経済』 ⑧ 数値の羅列に興味を持てなかった。  
⑨ 難解である  
⑩ 技術者畑の人間(研修生)には不適当な内容であった。  
⑪ 工業・技術等の先端技術に関する具体的な講義に変えて欲しい。

6. 日本 <small>の</small> 中小企業経営	⑦ 非常におもしろくためになった。
	⑧ もっと時間を増やして欲しい。
* Q&A活動の講義が必要かという質問に対する答	
↳ 工場見学の質疑応答等で具体的に聞けるから、 LIT=22 講義の必要はない。	
(工場見学)	
1. 全体的な構成について	⑨ 予め研修生の専門を確かめて 効果的な工場を選ばせて欲しい。
2. 富士通 (沼津)	⑩ 対応等も内容も非常に良かった。
3. SONY	⑪ 先端技術を見るという意味では、 無意味とは言えないが、実質上研修 生の立場からすると、役に立たなかった 実に見えた物を見せて欲しい。
	⑫ ショールームよりも 展示見本市のような 所を見学させて欲しい。
4 清水	⑬ おおに工場は単純 ⑭ 質問に対する対応が適切で良かった。
5. アイックス	⑮ 見学場所としては評価できずが 時間的に無理があった。
	⑯ T-Q-の 不提示は仕方ない が過去の資料で対応出来れば 応じて欲しい。

6.工場見学 全体の質疑応答にスレ.
① 難応答内容を ひと構造的 掘り下げて 答えたい.
例は: TRC 活動の .日本独自の とり入れ方 . 為座のさせ方 . 工夫についで 教えて欲しい.
< 都内観光 > ② 時間的に 余裕が 余裕が > 日数を 増やしたい.
< 研修旅行 > ③ インフォ-リ-ム . 資料 . 等を 事前は . 充分に . 準備を したい.
< 日本語 >
1. 1クラス 1担任制 に したい.
2. 資料として 持ちたいので . 3種類の 教科書と . 一冊に まとめて 欲しい.
3. 専門用語集が . 欲しい.
4. 体験的 日本語学習 が . したい.
< その他 >
1. ホ-ムスタ が ほしい.
2. 博物館を 見学したい.
3. 国際見本市の 見学 . しくは . 資料準備を したい.

<ホテルの部屋について>
1. ツングルではなくツインの部屋割りにしてほしい。
<講義について> (日本語も含む)
1. 『日本の文化』の講義 → 過去の文化だけでなく現代の日本文化の説明がほしい。(現代の若者文化等)
2. ② 日本の文化の解説ではよく仏教に関する語が多く、日本独特の慣習、生活の中での文化等への言及が乏しかった。
3. 『日本の経済』の講義 → ④ 説得力がなく、主観的な講義であった。
② 韓国語が聞き取りづらかった。
4. 『毎日生活ガイド』のような内容を増やしてほしい。(研修に最も必要な内容の一つ)
5. 研修の基礎となる日本語の授業が少ない。
6. 体験的日本語学習がほしい。(バスに乗ったり、映画館での日本映画鑑賞等)
7. 『日本の中小企業経営』 → 具体例を挙げながらの説明で分かりやすく、大変良かった。
8. 日本語の授業、クラス分けに問題あり
9. 教科書の中で使われる言葉以外の普通言葉も教えてほしい。

<見学について>

1. 富士通

・大変良かった。課長が韓国語を話せ、韓国語で説明してくれた。誠意が感じられた。

・工場のオートメーション化への説明が良く、見学ができた。

2. SONY

・展示されている商品だけ見て、会社の規模等への説明が一切無かった。

・製作過程が見られず残念だった。

3. 清水製鉄

・溶接の過程が良く見られた。

\*移動の時間が長く見学時間が短い。

4. アイレックス

・パンフレットの準備が良かった。

\*大企業(例えば日産)の見学を入れてほしい。

<都内ツアー> (及び研修旅行)

・時間に余裕が良かった。

・京都・奈良等を入れてほしい。(個人で行けない)

・一月を前・中・後半と研修内容を分けてほしい。

(例えば前半は講義、中半で見学、後半で旅行というようにすれば疲れず、体調を整えやすい。)

〈全体〉
・研修生のレベル分けを行ってほしい。 (基礎的な技術の研修の必要なグループと高度技術の 必要なグループ(韓国で研究所勤務の人達etc)に分け、 研修先の決定を行う)
・日本人の勤務態度を学ぶに来たのではないので、 研修先では技術指導をしてほしい。
・研修生の専門分野の分布を見て一番比重の大きい 分野から見学工場を決定してほしい。



(あなたの研究科目についてのアンケート)

2. 勤続年数		(研修員本人の専門分野)	
1年	1人	品質管理	9
2年	7人	生産管理	7
3年	9人	プレス・金型設計	7
4年	7人	機械	4
5年	13人	印刷	4
6年	8人	設計	3
7年	5人	冷間引抜き鋼管	2
		自動化設計	2
8年	3人	切削工具製作	2
		食品加工学	2
9年	1人	印刷回路基板	2
		電子	2
10年	3人	PRESS設計	
11年	2人	技術営業	
		化学	
12年	1人	Ribbon Cartridge設計	
		鍛造生産技術	
13年	5人	ドローイング	
		機械組立	
		旋盤加工	

PC.B.  
CNC工作機械  
設備管理  
生産技術  
MODEL  
加工・溶接工場管理  
電子部品製造工程  
コンビニ-タープラク  
産業用コンテナ  
味噌醤油等のQC

様式第3号

国際協力事業団

(あなたの研修科目についてのアンケート)

<u>&lt;研修希望内容&gt;</u>	
◦品質管理 8	◦産業機械設計
◦生産管理 5	◦加工, 溶接, 工場管理
◦プレス, 金型, 組立 4	◦ONC BENDING MACHINE
◦表面処理, 熱処理 3	
◦Automation化について 2	
◦豆腐製造 2	
◦溶解技術	
◦Robotics	
◦日本人の勤労態度	
◦界面活性剤のQC	
◦M-processor	
◦機械設計	
◦Control unit	
◦回路盤	
◦SMT	
◦M/C 機械操作	
◦3次元形像加工方法	
◦旋盤加工, 部品組立	
◦設備管理及び自動化技術	
◦工場管理	
◦Tool set up & Tool JIG 管理法	

様式第3号

国際協力事業団

氏名(英字) \_\_\_\_\_

〃 (漢字) \_\_\_\_\_

研修先企業 \_\_\_\_\_

1991. 11.30(土) 統計

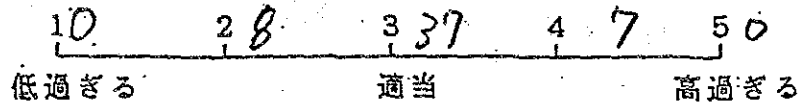
最終評価アンケート

◎ 〆名提出

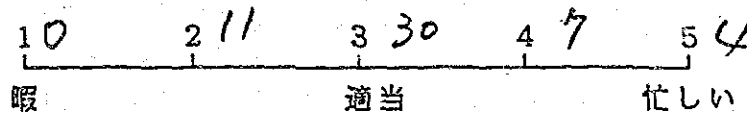
このアンケートは、最終評価会にて回収します。

1. 研修について

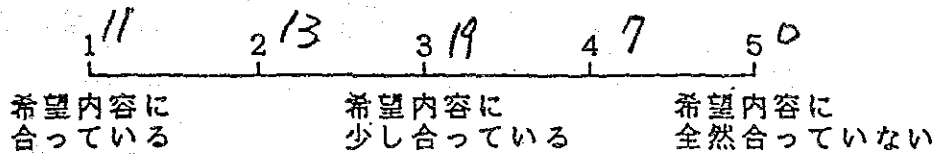
(1) 水準 \*該当する番号に○をつけてください。(以下同じ)



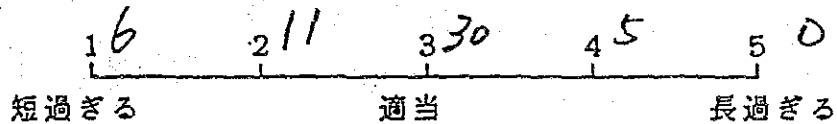
(2) 密度



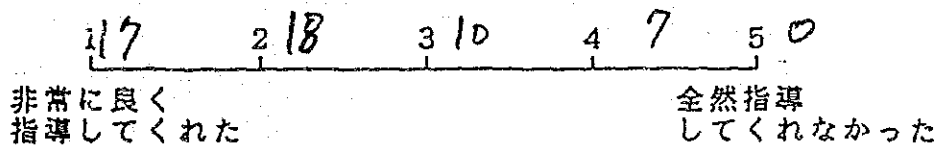
(3) 内容



(4) 研修期間

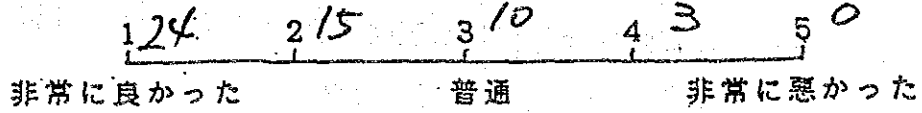


(5) 受入先の方は良く指導してくれましたか

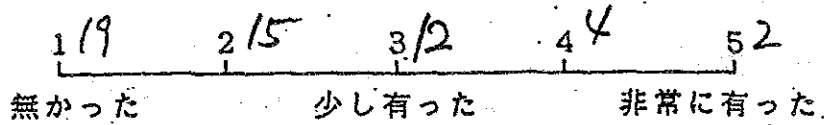


2. 日常生活について

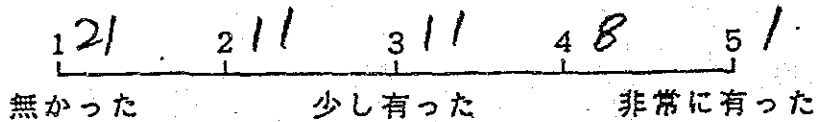
(1) 研修場所での人間関係は良かったですか



(2) 食生活で問題はありましたか



(3) 宿泊施設で問題はありましたか



(4) 研修以外の活動・行事に参加しましたか。参加した場合は具体的に書いてください。

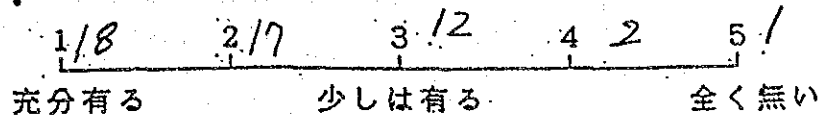
展示会 17	おまつり 4
なし 16	リレーション(ボウリング大会 羽球大会) 4
工場見学 5	旅行 2
QCサークル活動 5	スクリーンモニター 2
	結婚式 1

(5) 日常生活で何か問題があった場合は、具体的に書いてください。

なし 11	通勤 1
食事 3	電話 1
言葉 2	
仕事の終わりのつかい合わせ 1	

(9) 研修成果の活用度

日本で習得した技術と知識を、帰国後活用できる機会があると思いますか。



\* 4又は5とした人はその理由を下記より選んでください。

1. 技術水準に格差がある為
2. 機械類が不十分な為
3. その他

金型設計分野を研修に来日せず"機械"分野を研修したため  
(栄興社)

---

---

---

---

3. 日本語について

(1) 来日前、韓国でおこなった日本語研修は役に立ちましたか

1/3      2/18      3/12      4/3      5/0  
 非常に役に立った      少し役に立った      全然役に立たなかった

(2) 研修期間中、あなたの日本語は上達しましたか

1/7      2/19      3/20      4/1      5/0  
 非常に上達した      全然上達しなかった

(3) 研修は主に何語でおこないましたか

1. 日本語 45
2. 韓国語 0
3. 英語 1
4. その他 ( 0 )

(4) 言語に関して何か問題がありましたか。有った場合は具体的に書いてください。

なし 10

聴取が難しく (指導者) 担当者の意図の理解がよた 5

漢字による筆談が有知た 3

研修時: 現場に必要言葉を知りたい 1

発音 難しい 3

語学力不足 2

漢字の読み・意味 1

方言 1

日本人の早口 1

日本語の学習時間の延長 2 韓国語の出身講師を望む 1

(1) 消費者のための企業 2 誠実だ 2

愛社精神が強い / 清潔な作業環境 2

GNPに比べ売上の伸びが早い /

4. その他

おもしろい技術や製品 /

企業内の雰囲気 /

男女の差が大きい企業 /

(1) 日本の企業や労働者についての印象を書いてください。

日本人は一生懸命働いている 11

責任感が強い 5

肩書があっても平等に仕事をする 5

親切だ 3 / 真面目だ 3

消費者のことを考えて生産活動が活発だ 3 / 時間を大切に

専門家のいる専門性のある企業 2 / 働きやすい 2

いつでも均質化した仕事内容 2 / 仕事後の人間関係がよい

(2) 日本又は日本人についての印象を書いてください。

親切 13 / 悪い印象をもた 4

協調性 3 / 人情が豊富だ 3

今の若い人は少しづつはなれて 2 / 誠実 2

目的の生活に充実させている 2 / 正直だ 2

勤勉だ 1 / 休まず 1 / 感情を外に出さない

景色がきれいだ / 来日前のよすが(先入観)がとれた

(3) 滞日生活で特に印象深かった事、問題のあった事等できるだけ詳しく

書いてください。

・工場の人のお家に三泊(素朴な日本人の生活にふれられた) 3

・真夜中の豆腐工場見学(1/3 0:30~6:30) 2

・日本式の正座にまよひさせられたとき 2

・釣(いろんな話ができてよかった) 2

・若い人の礼儀作法の不足 2

・約束と九か三つにたが(守り) / ・カードの普及(社説に2) 1

・互いの仕事に協力する / ・自分の責任は守る 1

・日光への研修旅行 / ・日本は世界のNo.1を信じている 1



(3)	韓国生活で特に印象深かったこと	
	。 工場の人々の家に向ったこと。(青洲の日本人の生活にふれられたこと)	3
	。 真夜中の豆腐工場見学。(1/23 0:30~6:30)	2
	。 日本人に正座における正式のあいさつ(おじや)を習ったこと	2
	。 金釣(いろいろな言葉をかきとめてよかった)	2
	。 著者の礼儀作法の不足	2
	。 約束をたがえたり守らない	1
	。 社会倉庫でのカードの普及(カードなしには倉庫で足らぬ警備)	1
	。 互いの仕事に協力しあう	1
	。 自分の責任は果たす	1
	。 日光への研修旅行	1
	。 日本は世界のNo.1であり、偉大だといふ社会の話	1
	問題点	
	。 日本語 (語彙不足) に対する意匠の研鑽(困難な所)	1
	。 生活習慣の差	1
	。 韓国に在る家族が因にかかた	1

30人

「韓国技術者研修」 評価会 (10:30~ 午後7時 重陽の間)

○ 研修者全体的に

・良

非常に良かった  
振り返りやすい

・改善点

受入担当者が忙しく、~~世話~~世話が不十分  
(←指導の為に1人1人のフォローが必要)  
行き方などという意見も

○ 日本語 [標準語をならう、地方に行くと]

・2ヶ月程でなれた

○ 9人 研修旅行に行かなかった

~~JICAからの連絡不足で、そのこと自体知らなかった。受入企業にまかされてある。~~

・3人 ... 忙しいから、行くなら2人で行くように言われ、その為

・ (和同エンジ=74~77  
・ プリント

・ KES 何も言わず

・ 研修生から言う、経営がおろそかという話

・ 王子

・ 栄興社

・ 九州エレクトロニクスシステム、T-ジーン

○ 研修旅行はありべき

工場見学等、範囲を

・ 気分転換

・ 仕事に慣れることがみれり

・ 以外にも、文化、史跡等

○ 受入企業 日韓経済協会

・ 丸岩 自分の専門以外の仕事をした。(韓国から  
国際として  
確認してにも力が入る)

○ 受入企業 説明会はあり

・ 女子人は旅館、男子人はホテルにとまった。

朝食付きを知らずに食事をした。後で知らず、20.

研修

・ 担当者はお金はいくらか (指導料)

JPN Gov. 30万円 /月 研修生1人に料2.

S.K. " 6万円 "

研修生 4950 食費等 ← S.K.G

指導料に合うだけの仕事と教えてもらってない。

○ 来年度への課題

・ 交通不便 (バスなし)

自転車を買って、おいと来た。

企業は何もしてくれなかった

・ 全企業を1回は訪問して、改善させた方がいい。

行けない場合は tel 2"2"も。

・ 一番、生活で困難だったこと。

・ 日本語。

・ 朝全晩、弁当 1:30

・ 1人 ... さみしい

2人 ...

(受入企業に)

) 良くも悪くもある。

第8次韓国技術者研修に関する提案

CDV. 森下 隆雄 植田 美枝

全般として、この「下」のオリエンテーション、研修先の訪問、評価会、帰国時の送迎等、全体を通じた配置は、CDVに  
とて、研修生にとっても越える、効率的だと  
思うので、次回から、全体を通じた配置を以て欲しい。

① 研修員の英語・日本語能力の水準から、考慮  
し、深い理解・情報・説明事項の徹底のため  
資料・説明・パンチ等、韓国語を使用す  
ることが効果的・効率的だと考え

② 企業への事前説明の際、研修の趣旨、  
研修内容、専攻、経営の手続きを、確実に  
理解させることが必要。

③ 韓国中小企業振興公庫 JICA の共通理解の  
徹底が必要。

④ 日本語学習 ① 韓国語がわかる講師の方が効果的  
② 1クラス/担任制が望ましい  
③ 研修先で必ずしも言葉を中心とした教育

オリエンテーション時の宿舎；現時点では、全室 S；移動機  
の軒下で、東隣ホテルの満室がある

日本語講義室；如何うも不適切；出来れば、下1Cの  
使用が望ましい。

韓国国際協力

企業訪問；研修員の JICA に対する信頼感に乏しい。又  
ストレスの解消のための、出来れば派遣企業数  
を増やして欲しい。

評価会；パンチ報告書等については、書かれた意見、所感  
等、最終的に、私めは必要である。

韓国技術者研修評価会 9/11/28

(次) 甲種と乙種 研修の関 10:30~11:20

<p>その他 意見</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>。 JICA担当者 又は CAN の 企業訪問は としよめた。 てまは、 企業訪問が望ましい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>。 理解する時は 電話で 様子を見ればよい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>。 自身の 日本語能力の 不足と 地方方言とのギャップ が あり 大層 ( 研修の 1ヶ月以上かかった )</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>。 研修者の 日本語能力不足のため、 深い 理解が できず、 研修に 支障が あった。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>。 研修問題は、 個人差があるが、 最後まで 大抵の問題は、 研修が 与えた。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>。 研修先に、 人びと、 多く、 大変な 日本語能力 研修、 積極的に 取り組む。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>。 研修先に、 人びと、 多く、 精神的 ストレスは あり、 研修が、 日本語や、 他の面で、 人に 有利な、 研修は、 積極的に 行う。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>。 研修請求の 手続が、 複雑で、 わりに、 多い。</li> </ul>	

全体的 評価

非常に よかった、

これから も 続けて ほしい、

① 各 企業 の 担当者 が、 丁寧な 説明 を、 行った、

② 各 企業 の、 事前 説明 の、 不足、

③ 研修 旅行 の、 存在 が、 ない、

④ 宿舎 と、 研修、 交通、 の、 不便、

⑤ 研修 費用、 の、 負担、 が、 大きい、

⑥ 研修 内容、 の、 専門 性、 が、 低い、

⑦ 研修 期間、 の、 短縮、 が、 望ましい、

⑧ 研修 費用、 の、 削減、 が、 望ましい、

⑨ 研修 費用、 の、 削減、 が、 望ましい、

⑩ 研修 費用、 の、 削減、 が、 望ましい、

⑪ 研修 費用、 の、 削減、 が、 望ましい、

⑫ 研修 費用、 の、 削減、 が、 望ましい、

⑬ 研修 費用、 の、 削減、 が、 望ましい、

⑭ 研修 費用、 の、 削減、 が、 望ましい、

I-3-(9) イ.

第9次韓国技術者研修計画最終評価アンケート



第9次韓国技術者研修計画  
最終評価アンケート

1. 研修について

(1) 水準

	人数	%
低過ぎる	0	
	5	
適当	58	
	4	
高過ぎる	0	

(2) 密度

	人数	%
低過ぎる	1	
	14	
適当	45	
	6	
高過ぎる	2	

(3) 内容 研修希望内容に・・・

	人数	%
合っている	14	
	25	
少し合っている	23	
	5	
全然合っていない	0	

(4) 研修期間

	人数	%
短過ぎる	5	
	25	
適当	43	
	2	
長過ぎる	2	



(5) 受入先の方は良く指導してくれましたか。

	人数	%
非常に良く指導してくれた	15	
	14	
普通	25	
	3	
全然指導してくれなかった	0	

(6) あなたの研修目的は達成されましたか。

	人数	%
充分達成された	9	
	31	
達成された	24	
	3	
全然達成されなかった	0	

- \* 4又は5とした人は、その理由を書いて下さい。
- ・受入れ企業が忙しくて十分な時間がもてなかった
  - ・コンピューターのシステムが違う
  - ・2か月で研修内容を習得するには短い(2名)
  - ・3か月位の研修が適当
  - ・自社での実務内容と一致しない部分がある
  - ・昨年、一昨年度の研修生と研修内容が同じだった
  - ・言葉が不十分で1か月は無意味に過ごし、実質的研修は1か月位しか出来なかった

(7) 研修について問題がありましたか。あった場合は具体的に書いて下さい。

- ・日本語能力(2名)
- ・研修先企業の選択
- ・詳細なスケジュールがなかった(2名)
- ・研修スケジュールが違っていた(3名)
- ・宿所から国際電話や郵便局が遠くて不便だった

- ・来日前に十分に研修内容を把握出来なかったため、十分な研修ができなかった
- ・研修に担当者がいなかった
- ・研修指導が研修計画に沿ったものではなかった
- ・研修内容に作業補助的なものが多かった
- ・技術資料等を会社のノウハウだということで教えてもらえなかった
- ・経費の精算
- ・研修先での行動に制限があり、十分な研修を受けることが出来なかった

(8) 研修中に教材、教本を使った場合は、その題名・著者名を書いて下さい。

- ・開発研究所の教材 (財) 素形成センター
- ・農林害虫名鑑 日本植物防疫協会
- ・最新農薬生物検定法 細辻豊二
- ・病虫害小辞典 森田儔
- ・QC7つの道具テキスト ブラザー品質管理
- ・プレス金型部品の本 ミツミ社
- ・CADAM操作訓練マニュアル 富士通
- ・JIS規格集(可変抵抗器)
- ・MAEDAの生産管理方式(自社の生産管理方式)
- ・金型材料
- ・研修担当者が作成した教材(2名)
- ・月刊プレス技術
- ・自社の精算計画書(2名)

(9) 研修成果の活用度

日本で習得した技術と知識を、帰国後活用できる機会があると思いますか。

	人数	%
充分ある	24	
	21	
少しはある	20	
	2	
全く無い	0	

\* 4又は5とした人はその理由を下記より選んで下さい。

1. 技術水準に格差があるため 5名
2. 機械類が不十分なため
3. その他

- ・自分の研修内容はすぐに工業的に活用出来る内容ではないため
- ・業務内容に違いがあるため（2名）

2. 日常生活について

(1) 研修現場での人間関係は良かったですか。

	人 数	%
非常に良かった	15	
	29	
普通	20	
	2	
非常に悪かった	0	

(2) 食生活で問題はありましたか。

	人 数	%
無かった	20	
	21	
少し有った	19	
	2	
非常に有った	3	

(3) 宿泊施設で問題はありましたか。

	人 数	%
無かった	23	
	21	
少し有った	14	
	4	
非常に有った	1	

(4) 研修以外の活動・行事に参加しましたか。参加した場合には具体的に書いて下さい。

- ・ 地域での祭り (2名)
- ・ 社内旅行・見学旅行 (8名)
- ・ 社内運動会 (2名)
- ・ ボーリング大会、バレーボール大会 (2名)
- ・ 各QC活動 (品質改善発表会、肯定品質点検)
- ・ ロータリークラブ会合
- ・ 市民WALKING大会
- ・ 各種展示会
- ・ 教会の日曜礼拝

(5) 日常生活で何か問題が有った場合は、具体的に書いて下さい。

- ・ 宿所から駅までの距離が遠く、交通、通勤が不便だった (2名)
- ・ 方言の聞き取りが大変だった
- ・ 主要施設 (商店街、郵便局、国際電話等) が遠く不便だった
- ・ 食生活問題
- ・ 研修旅行などの交通費の振り込みが遅くて困った
- ・ 地方新聞記者とのインタビュー

3. 日本語について

(1) 来日前、韓国で行った日本語研修は役に立ちましたか。

	人 数	%
非常に役に立った	17	
	29	
少し役に立った	14	
	2	
全然役に立たなかった	0	

(3) 研修期間中、あなたの日本語は上達しましたか。

	人 数	%
非常に上達した	3	
	32	
少し上達した	25	
	5	
全然上達しなかった	0	

(3) 研修は主に何語で行いましたか。

1. 日本語 61名
2. 韓国語 3名
3. 英語 5名
4. その他 (筆談、漢字など)

(4) 言語に関して何か問題がありましたか。有った場合には具体的に書いて下さい。

- ・日本語研修では「～です、～ます」型で習ったため、実際の会話体と少し違い、聞き取りに多少困った。
- ・研修先の人々の話し方が早く、理解出来ない部分があった
- ・生活会話が大変だった(3名)
- ・方言の聞き取りに困った(3名)
- ・日本語のひとつの言葉にいくつもの意味が有り、理解しにくかった
- ・専門用語がわからなくて困った

第9次韓国技術者研修計画 評価会

日時 1992.11.25 (AM10:00~10:30)

場所 日精ホール (大崎ニューシティ)

I. 全体的評価

- ・特に大きな問題点はなく、全体としては良かった。

II. 改善点

- ・受入れ企業が研修に係る手続き・内容等を知らないことが多かった。事前の説明を徹底してほしい。
- ・オリエンテーションプログラムで日本語の学習時間を充実してほしい。
- ・研修員に対する研修日程・内容を確認してほしい。(実習のみで研修中担当者からの説明がなかった)
- ・経費の区分を明確にしてほしい。(研修員請求分・企業側請求分)

III. その他の意見

- ・地方では方言のため聞き取りがほとんど出来なかった。
- ・研修先が辺鄙な場所だったため、銀行・交通等不便だった。
- ・研修先の日本人と全く交流が無かった。
- ・JICAによる企業訪問を実施して欲しい。(企業訪問を行わなかった研修員から)

〈コーディネーターの所感〉 CDN 植岡美矢・坂本由紀恵・李美美

- ・今後この事業を継続する場合もしくはこの種の事業を行う場合、経費手続きの簡略化(一本化)と企業への徹底した事前説明が必要であると考える。
- ・オリエンテーションプログラムでの日本語授業の改善を行って欲しい。
  - ① 1クラス1担任制
  - ② 少人数制
  - ③ 教室の確保
- ・開講式・閉講式の会場は、ゆうぽーとのほうが望ましい。
- ・今回はミーティングから帰国送迎まで一貫した配置だったため業務の流れが理解しやすく良かった。

以上



I-3-(9)ウ. 研修監理報告書





区分 コース名	課団、一般、特設(コース番号NO. ) 個別/単発、C/P、コース名：第9次韓国技術者研修計画 国際機関、国際特設 JICA担当者：研修2課 職員 鈴木 晃 代理			5段階評価： (A：非常に良い、C：問題なし、E：問題あり を基準として5段階評価の上、あてはまるものを マルでかこむこと)	
関係省庁 受入機関	外務省、通産省、 韓国中小企業新興公社	主な研修先 東興ホテル、ゆうぼうと等 主な宿泊先 五枝田東興ホテル 主な旅行先 静岡、山梨	1. 研修計画目的達成度	A B <input checked="" type="checkbox"/> D E	
研修期間	4年 8月 30日 から 4年 11月 26日(2月26日)			2. 研修形態(昼・夜、実習中心等)	A B <input checked="" type="checkbox"/> D E
配置期間	4年 8月 17日 から 4年 12月 4日			3. 研修期間	A <input checked="" type="checkbox"/> C D E
研修員の氏名、国名及び役職(多数の場合は別添)：	人数： 80人 使用言語： 韓国語			4. 研修日程密度	A <input checked="" type="checkbox"/> C D E
講義見学等(半日を1単位とする)				5. 研修項目配列	A <input checked="" type="checkbox"/> C D E
	総数(A)	通訳総数(B)	通訳率(B/A×100) %	6. 講義	A B <input checked="" type="checkbox"/> D E
講義	6	4	66 %	7. 見学	A B C <input checked="" type="checkbox"/> E
見学	4	4	100 %	8. 研修旅行	A B <input checked="" type="checkbox"/> D E
実習			%	9. 教材	A B <input checked="" type="checkbox"/> D E
討論			%	10. 研修施設、研修機器	A B C D <input checked="" type="checkbox"/> E
研修員発表 (カンパニ-VP-I)			%	11. 交通手段、通勤手段等	A B <input checked="" type="checkbox"/> D E
合計	10		平均通訳率 83 %	12. 厚生活動	A B <input checked="" type="checkbox"/> D E
				13. 食事、宿泊施設等	A B C <input checked="" type="checkbox"/> E
				14. プリーフィング、オリエンテーション	A B <input checked="" type="checkbox"/> D E
研修監理業務報告(上記5段階評価の理由について下記に記載すること。とくに問題点、改善案を明記のこと。)					
1. 研修計画 研修計画の目的達成度としては、研修旅行期間中、特に問題もなく、当初の目的を達成したと思われる。またオリエンテーション期間としての4週間に日本語学習、一般講義、施設見学等、盛り沢山の内容で研修員もそれなりに成果のある研修が出来たと思う。					
2. 研修形態 午前中と午後の講義に分かれており、午前中は9:30-12:00、午後は13:30-16:00 ということ、一部研修員からは午後の講義のあと、時間が余り過ぎるため何か企画してほしいという声も聞かれた。また日本語学習の際には全体の人数が多く、もう少し少人数クラス(6人位)で学習したかったという意見が非常に多かった。					
3. 期間/4. 密度/5. 配列 オリエンテーション期間としては4週間は妥当であろう。また各講義のバランスもよく、密度、配列共に適当だった。但し、日本語学習に関して言えば、もう少し長期間学習したかったという意見もあった。					
6. 講義/7. 見学/8. 旅行 講義は講師によって日本語の場合と韓国語の場合があったが、どの講義も内容がまとまっており、研修員にも分かりやすい講義であった。施設見学は工場見学中心で、その規模も小企業から大企業まで多様であったと思うが、見学時間及び質疑応答の時間配分に若干の問題があった場合もあった。また研修員からはもっと多くの現場を見たかったと言う声が多かった。研修旅行はバス2台での移動となったが、終始和やかな雰囲気の中、研修員にはよい気分転換になったと思う。					
9. 教材 講義のレジュメ等は適当だったと思う。ただ時間の関係上まとめて渡すことができず、その都度渡したので、研修員には整理しなかった部分もあったと思う。日本語教材についても適当だったと思うが、研修員の中からは韓国語の対訳のついた教科書を希望する声と自習のために全体6冊の教科書がほしいという意見がかなりあった。					
10. 施設、機器/11. 交通手段 研修施設については、東興ホテルは会議室やロビー等も広く、大人数での集団研修には不向きである。ゆうぼうとは距離的にも会場の広さも適当であった。今回は場所の移動が多く、研修員には大変不評であった。日本語学習には視覚機器の使用を望む声が多かった。					
12. 厚生/13. 食事 今回は東京都内バスツアーやディズニーランド等、どれもとても好評だった。食事に関しては不満をいう研修員はほとんどいなかったがやはりTICのような施設の方が、このような集団研修にはより適しているだろう。					
14. プリーフィング、オリエンテーション 全体としては適当であったと思う。					
15. 受入れ先に関する報告					
18. その他					
添付資料等 (1) 研修日程表(実施済のもの) (2) 研修員に関する報告(別紙による)及びリスト (3) 使用テキストリスト (4) 評価会の要旨 (5) クエショニアの要約					

第9次 戦国技術研修計画オリエンテーション日程表

平成4年8月26日現在

日順	午前 (09:00~12:00)	会場	午後 (13:30~16:30)	会場	宿泊場所	特記事項
8月30日(日)	来日指定日 KE704便 13:00 (成田)研修員ピックアップ、後、東風ホテルへチェックイン				東風ホテル	東風ホテル ☎ 03-3494-1050
8月31日(月)	開講式 (11:30~12:00)	日神ホール	歓迎宴会 (12:00~14:00)	ニューグレイ	東風ホテル	ニューグレイ 東京 ☎ 03-3779-9180
9月1日(火)	フリーディング (ゆうほうと 7階重畳棟)	ゆうほうと	【講義1】：浦田生活ガイダンス (牛尾恵子ON)	ゆうほうと	東風ホテル	ゆうほうと ☎ 03-3490-5111
9月2日(水)	日本語① (クラス分、他)	東風ホテル	【講義2】：日本の地理 (立正大学 正井先生)	ニューグレイ	東風ホテル	開講式会場：日本精工ホール(大崎ビル) 歓迎会場：ニューグレイ東京(ノ2号館 3F)
9月3日(木)	日本語②	東風ホテル	日本語③	東風ホテル	東風ホテル	日本語研修：東風ホテルの会議室(8階)を借用する。 8階はIICA本部の研修室を借用する。 6階会議室を借用する。
9月4日(金)	日本語④	東風ホテル	日本語⑤	東風ホテル	東風ホテル	
9月5日(土)	都内バスツアー(東京カ、皇居、浅草 8:45出発-13:30到着)	東風ホテル	日本語⑦	東風ホテル	東風ホテル	
9月6日(日)	自由	東風ホテル	日本語⑧	東風ホテル	東風ホテル	
9月7日(月)	日本語⑥	東風ホテル	日本語⑨	東風ホテル	東風ホテル	
9月8日(火)	日本語③	東風ホテル	日本語⑩	東風ホテル	東風ホテル	
9月9日(水)	日本語④	東風ホテル	【講義4】：日本の中小企業 (経団連 川本先生)	東風ホテル	東風ホテル	
9月10日(木)	【講義3】：日本の文化 (神田外国語大蔵源先生)	ゆうほうと	( 7:30 出発予定)	ゆうほうと	東風ホテル	研修会場：ゆうほうと (7階重畳棟) 河口流研修センター ☎ 03-335-72-0500
9月11日(金)	研修旅行【富士通 沼津工場見学、及び富士、箱根見学】 (17:00 到着予定)				ホテル大橋	
9月12日(土)	自由				東風ホテル	
9月13日(日)	日本語⑧	JICA47、8階	日本語⑨	JICA47、8階	東風ホテル	
9月14日(月)	日本語⑨	JICA47、8階	日本語⑩	JICA47、8階	東風ホテル	
9月15日(火)	祝日(敬老の日)				東風ホテル	
9月16日(水)	【講義5】：日本のハイテク (入道中)	ゆうほうと	【講義6】：日本のQC (日本規格協会 川村先生)	ゆうほうと	東風ホテル	研修会場：ゆうほうと (6階重畳)
9月17日(木)	都内大企業工場見学【ホンダ技研 狭山工場】 (11:30 出発、13:30~16:00 見学、18:00 到着予定)	狭山工場			東風ホテル	
9月18日(金)	日本語⑩	JICA47、8階	日本語⑩	JICA47、8階	東風ホテル	
9月19日(土)	自由(秋分の日)	東風ホテル			東風ホテル	
9月20日(日)	自由				東風ホテル	
9月21日(月)	大田区中小企業団地、産業会館見学		東芝科学館見学		東風ホテル	
9月22日(火)	日本語16 (日本語発表会)	ゆうほうと	研修会及び移動、研修に関する説明	ゆうほうと	東風ホテル	会場：ゆうほうと (6階重畳)
9月23日(水)	自由(秋分の日)				東風ホテル	
9月24日(木)	東風ホテルチェックアウト (各受入先企業へ移動)				受入企業宿舎	

【3か月研修】

11月24日(火)	研修員は各受入先から東京へ移動 (東風ホテルチェックイン)	東風ホテル
11月25日(水)	研修会・開講式 (10:00~12:00) 阪急ホール 歓送パーティー (12:00~14:00)	東風ホテル
11月26日(木)	帰国指定日 (東風ホテルチェックアウト後、バスにて東風ホテルより成田へ)	

1. JICAテキスト

JICA 日本語教材

2. 研修先テキスト

最終評価シート参照

3. 市販テキスト

最終評価シート参照

4. その他参考資料

講師作成レシメ多数



## 開閉式挨拶



## 挨拶(案)

ご来賓の皆様、研修員の皆さん、第9次韓国技術者研修計画の開講式にあたり、JICAを代表して一言ご挨拶申し上げます。

この計画は、1983年、両国政府が日韓の産業技術協力を推進する上での象徴的事業として実施することに合意し、翌1984年から実施されているものであります。

その目的とするところは、日本企業が有する基礎的、一般的技術のうち韓国の中小企業で不足している技術について、研修員の皆さんが我が国の企業で研修し、帰国後、韓国の企業で役立つ技術を習得して頂くと同時に、研修中の人間的交流によって有効関係を深めることにあります。

既に本計画で来日された研修員は皆さんを含めて1207名に達しております。

これは、JICAとAOTS(海外技術者研修協会)とで分担して受け入れた数字で、JICAだけでは581名を受け入れたことになります。

JICAは、1974年、政府間の合意に基づく海外諸国との技術協力を実施するために設立された組織で、その目的とするところは、技術協力を通じて我が国と海外諸国との友好と相互理解を促進することです。

この機会をお借りして、本計画の実施に当たり、ご指導、ご協力を頂いたご来賓の皆様、外務省、日韓経済協会、研修員を受け入れて頂く各企業の方々に心よりお礼を申し上げます。

研修員の皆さんは、これから約1カ月の共通プログラムを受け、その後、それぞれの企業に入って3カ月ないし6カ月の研修予定ですが、本計画が両国のより密接な関係を築く上で役立つことをお祈りし、また研修員の皆さんのご健康と実り多い研修を祈って挨拶とします。

以 上



## 第9次韓国技術者研修計画開講式

ご紹介に預かりました外務省北東アジア課の岡田でございます。

私は現在、外務省で日韓の経済問題を担当しておりますが、今年に入りまして半年の間に6回韓国へ出張しています。私の前任者は2年間で5回しか出張していませんので、かなり忙しい半年で合ったといえるでしょう。これは1月の首脳会談を受けて実践計画をまとめるという特別な事情もありましたが、日韓の経済関係がますます量的、質的に緊密化しつつあり、同時に、いろいろな摩擦が生じていることを反映していると思います。付き合いが深まれば摩擦が生じることは自然なことです、問題はそれらを一つ一つお互いへの理解をもって乗り越えていけるかでありましょう。

韓国技術者研修は83年の中曽根総理の韓国訪問及び翌年の全斗煥大統領の訪日を機会に始まりましたが、これまですでに1000名を超える方が研修を終えられ、本年度中には当初の目標である1200名を達成する見込みです。1000名を超える皆様の先輩がそれぞれの職場で活躍されていること、また、日本側でも研修生の受け入れを通じて韓国とのつながりを持つ人々、企業が増えつつあることは、先程申し上げたように日韓の経済関係をスムーズに運んで行く上において非常に大きな財産であると思います。

短い期間かも知れませんが、専門分野での技術と知識の習得だけでなく、研修や滞在を通じて接する日本人との交流を深め、日本の文化、社会にできるだけ触れて頂きたいと思っております。皆さんの研修が心に残るものとなることをお祈り致します。

最後になりましたが、受け入れ企業の皆様を初め、関係各機関の皆様の協力にあらためて感謝の言葉を述べさせて頂きたいと思っております。

(了)

国際協力事業団研修事業部研修第二課長の立石です。第九次韓国技術者研修計画の開講式に当たり一言ご挨拶させていただきます。研修員の皆さん、日本へようこそいらっしゃいました。御来賓の皆さん、本日はお忙しいところ、ご来臨たまわり、たいへんありがとうございます。

この計画は、1983年、日韓両国の政府が日韓の産業技術協力を推進する上での象徴的事業として実施することに合意し、翌1984年から毎年実施してきており、今回が九回目であります。この計画の目的は、日本企業が有する基礎的、基盤的技術のうち韓国の中小企業で不足している技術について、研修員の皆さんが我が国の企業で研修し、帰国後、韓国の企業で役立つ技術を習得していただくとともに、研修中の人間的ふれあいを通して友好関係を深めることにあります。

本計画で韓国から来日された研修員の数は、皆さん80名を含めて合計1207名に達しています。これはJICAと海外技術者研修協会(AOTS)とで分担して受け入れてきたものであり、JICAだけでは581名を受け入れております。

JICAは、1974年、政府間の合意に基づく海外諸国との技術協力を実施するために、法律に基づいて設立された組織で、その使命は技術協力を通じて我が国と諸外国との友好と相互理解を促進することにあります。本計画が日韓両国のより密接な関係を築く上で役立つことを心から祈る次第です。

最後に、この場をお借りして、本計画の実施に当たり、様々な形でご指導、ご理解をいただいたご来賓の皆様、外務省、日韓経済協会、そして研修員を受け入れてくださる各企業の方々に対し、心よりお礼申し上げます。

研修員の皆さんは、これから約1か月の日本語研修等の共通プログラムを受け、その後、それぞれの企業に入って、3か月あるいは6か月の研修を受けることとなります。研修員の皆さんが研修期間を通じ、健康で充実した日々をおくられ、多くの成果を得られることを祈って、JICAを代表しての挨拶と致します。

## 第9次韓国技術者研修計画閉講式及び歓送会

平成4年11月25日

只今ご紹介に預かりました、外務省北東アジア課の安齋でございます。

まず、研修員の皆様、大変ご苦労様でした。そして、韓国技術者研修計画に特段のご尽力を頂きました、韓国大使館、日韓経済協会、韓国中小企業振興公団、受入れ企業の皆様に、外務省を代表しまして厚く御礼申し上げます。

また、本日無事ここに閉講式を迎えることができましたことを、お祝い申し上げます。

本技術者研修計画が1983年にスタートして以来、JICA担当でお迎えした研修員の方々は、皆様を含めて580名に達しました。そもそも本研修計画の目的は、第一に、韓国の産業基盤を強化するために、研修員の方々の専門分野に関する技術及び知識を高めて頂くこと、第二に、研修を通じて草の根レベルでの日韓両国の友好関係を促進していくことにありますが、今回の研修員の方々は、この目的を十分に達成されたことと思います。韓国に帰国された後は、これまで先輩方がそうしてきたように、研修員の方々一人一人が今度は講師となって、研修で学んだ技術や知識を広く伝達し、研修の成果を何倍にも高めて頂けることを強く期待してやみません。

最後になりましたが、受入れ企業の皆様、関係各機関の皆様には、改めて感謝の言葉を述べさせて頂くと共に、研修員の皆様の一層のご活躍をお祈りして私の挨拶とさせていただきます。

## 第九次韓国技術者研修計画閉講式あいさつ（案）

こんにちは。

皆様方が来日されたのは、8月末で、まだ日本は厳しい残暑にありましたが、その後、季節はめぐり、いまや秋が深まり、冬の足音が聞こえてまいります。韓国の皆様のふるさとも新しい季節が訪れようとしていることと存じます。

ただ今、この会場で、皆様一同に再会し、再び元気な顔を拝見することができまして、今回のこの研修計画の責任者の一人といたしまして、大変うれしく思っております。

日本と韓国は隣国どうしであり、距離的には近いのですが、言語や文化の差異あるいは海を隔てているという地理的問題から、両国国民がじかに対話をして、お互いに理解をしようという機会は、国際化の時代といわれる今日においても十分であるとはいえません。

日本のすぐれた技術を韓国に移転し、韓国の経済的発展に寄与することが、この技術者研修計画の最大の目的であります。この技術移転の主役として約3か月の間日本に滞在された皆様、日本語や日本の文化に直接接することにより、よき日本の理解者となられるとともに、日本にとって国際社会の有力なパートナーである韓国の経済発展を力強く支えていく若い世代の中心として、帰国後おおいに活躍されることを心から祈念するものであります。

また、この研修期間中、皆様の受け入れに当たった日本企業の第一線において、皆様が熱心な態度で研修に努められたことは、多くの日本人びとに感銘を与え、両国間の理解と認識の促進におおいに貢献したものと存じます。

ご案内のように、世界経済は不況であり、日本の経済もまた厳しい状況に陥っています。日本経済を基盤的に支えている各企業が、直面する経済的苦難に対し、力を合わせて、様々な企業努力を払って立ち向かっている姿を、皆様方もまのあたりにされたことと存じます。こうした経験もまた、皆様の帰国後の御活動におおいに生かすことができるものとなることを強く期待致します。

韓国技術者研修計画は、9年間にわたり日本政府をはじめ、韓国政府、日韓経済協会、民間企業などの協力により実施してまいりましたが、今年度は同計画の最終年度であります。皆様方及び皆様方の先輩としてこの研修をおえられた、JICA及び海外技術者研修協会双方の受け入れにかかる合計1207名の方々が、母国のそれぞれの場所で、着実な活躍を遂げられますことを心からお祈りいたします。

最後に、韓国技術者研修計画を実施するに当たり、ご尽力を賜りました日韓両国関係者各位のご指導とご協力に厚くお礼申し上げますとともに、本席におられる方々の今後の一層のご健康をお祈り致しまして、第九次韓国技術者研修計画閉講式における私のあいさつといたします。

平成4年11月25日

国際協力事業団研修事業部研修第二課長

立石 直

## II. 講義・資料



企業研修に関するもの





II-1. 韓国技術者研修第1次～第9次研修員受入企業・受入研修員数一覧表（JICA分）

92.12.11

1/11

No.	受入企業名 (50音順)	総数	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次		第8次		第9次	
			3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
1	(有) アイ・ケー・ワールド・インターナショナル	1									1									
2	アイシン高丘(株)	3						1				2								
3	(株) アイ・シー・エス	1					1													
4	旭電子技術(株)	2										2								
5	旭サナック(株)	1																	1	
6	麻益(株)	1			1															
7	(株) 朝日クローム工業所	1													1					
8	アストロ電子工業(株)	2												1		1				
9	(株) アビコ・ソリューション	2											2							
10	(株) 東精密金型製作所	6									2		2		2					
11	アタイス工業(株)	1												1						
12	アデル通信工業(株)	1										1								
13	淡路産業(株)	1																	1	
14	泉鑄造(株)	5			2		2		1											
15	(株) 今仙電機製作所	8					2		1		2		3							
16	井沢工業(株)	1							1											
17	飯田立石電機(株)	2							2											
18	石倉工業(株)	4							2		2									
19	井上工機(株)	1									1									
20	稲畑香料(株)	1									1									
21	市光エンジニアリング(株)	1													1					
22	(株) 宇野澤組鉄工所	1			1															
23	(株) 内田製作所	1															1			
24	SMK(株)	9											3		3		2		1	
25	(株) エナミ精機	1					1													



韓国技術者研修第1次～第9次研修員受入企業・受入研修員数一覧表（JICA分）

No.	受入企業名 (50音順)	総数	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次		第8次		第9次	
			3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
26	(株) エフテック	4														2		2		
27	江戸川特殊金属工業(株)	2					1	1												
28	エルグ(株)	2								2										
29	(株) 栄興社	2								1						1				
30	エヌティビィ(株)	1														1				
31	荏原工機(株)	1																	1	
32	永和工業(株)	1								1										
33	オーム電機(株)	1										1								
34	オージー(株)	2										1				1				
35	(株) 大西熱学	5										3		2						
36	王子製紙(株)	2	2																	
37	岡三機械(株)	1			1															
38	オカノ電機(株)	2																	2	
39	(株) 大阪歯車工作所	1			1															
40	(株) 越智鋳造所	5			1			1		3										
41	大垣精工(株)	29			3		2	7	1	4	3	4	2	1	2					
42	(株) 大盛鉄工所	8				1		1											6	
43	(株) 大昌電子	4																	4	
44	(株) 音戸工作所	10						1		2				3		2			2	
45	大阪ガルバ(株)	1						1												
46	(株) 春日工業所	2										1		1						
47	川村化学(株)	1	1																	
48	(株) 川口製作所	1			1															
49	片山工業(株)	9			1					1			3	4						
50	鐘紡(株)	1			1															



韓国技術者研修第1次～第9次研修員受入企業・受入研修員数一覧表（JICA分）

No.	受入企業名 (50音順)	総数	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次		第8次		第9次	
			3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
51	(株)角田研磨機製作所	1			1															
52	(有)加藤製作所	2																	2	
53	川村化成(株)	3					1		2											
54	花王(株)	1								1										
55	釜屋化学工業(株)	1												1						
56	神農化学工業所	1										1								
57	協和ダンボール(株)	4			2							2								
58	共栄精工(株)	2														2				
59	北商(株)	1					1													
60	北井産業(株)	1							1											
61	(有)協和板金工業	1														1				
62	共和電機工業(株)	3														3				
63	(株)吉良鐵工所	4												2		2				
64	(株)京都タンパク	2								1				1						
65	金邦電気(株)	1							1											
66	(株)九州エレクトロニクスシステム	1														1				
67	クサカベ油絵具(株)	1				1														
68	グラフィックプラック(株)	1						1												
69	クボタ精機(株)	2							2											
70	呉羽センイ(株)	1			1															
71	金剛(株)	1			1															
72	キンセキ(株)	2														2				
73	小糸工業(株)	1			1															
74	小林金型工業所	4														2			2	
75	国産電機(株)	1					1													



韓国技術者研修第1次～第9次研修員受入企業・受入研修員数一覧表（JICA分）

92.12.11

4/11

No.	受入企業名 (50音順)	総数	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次		第8次		第9次	
			3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
76	㈱光陽社	4					2				1		1							
77	㈱工研	3							3											
78	鋼管工業㈱	3															3			
79	埼玉県鋳物機械工業試験場	1					1													
80	三葉工業㈱	1					1													
81	三洋電機㈱ オフテック事業部	1															1			
82	㈱三協工具製作所	7											3		2		2			
83	㈱山和エンジニアリング	3											1		2					
84	サンド㈱	1					1													
85	サクラ工業㈱	1															1			
86	桜エンドレス㈱	1													1					
87	桜測器㈱	2					1						1							
88	三光電気工業㈱	2													2					
89	㈱サンテック	1													1					
90	(有)サンミック	1									1									
91	サンユレジン	2											2							
92	志賀エンジニアリング	4													3		1			
93	昭和アルミニウム㈱	2	2																	
94	十條製紙㈱	4	4																	
95	自動車機器工業㈱	1			1															
96	CTI㈱	1			1															
97	静岡鐵工所㈱	2			2															
98	城山産業㈱	2				1	1													
99	進和テック㈱	1					1													
100	㈱新越電化製作所	1							1											





韓国技術者研修第1次～第9次研修員受入企業・受入研修員数一覧表（JICA分）

No.	受入企業名 (50音順)	総数	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次		第8次		第9次	
			3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
101	昭和熱処理㈱	1																	1	
102	昭和加工㈱	2							1								1			
103	㈱品川鋳造	3													1		1		1	
104	シルバー工業㈱	1									1									
105	新晃工業㈱	1					1													
106	新光電子㈱	2							2											
107	新日本特機㈱	1														1				
108	蛇の目電機㈱	1												1						
109	水菱プラスチック㈱	1												1						
110	㈱須田鐵工所	2			1		1													
111	鈴木桑㈱	5						5												
112	住友電気工業㈱	1												1						
113	スミクラ㈱	1														1				
114	セイコーエプソン㈱	1							1											
115	ゼネラル㈱	1																1		
116	西武ポリマ化成㈱	2							1							1				
117	㈱関屋製作所	1																1		
118	(有)ソレイユ	1													1					
119	双信電機㈱	1														1				
120	高野精密工業㈱	6			2										2		1			
121	㈱高德	1			1															
122	㈱ダイヤモンド	2					2													
123	㈱大東船舶電業舎	1					1													
124	大垂真空㈱	2									1		1							
125	大昭和製紙㈱	1					1													



韓国技術者研修第1次～第9次研修員受入企業・受入研修員数一覧表（JICA分）

No.	受入企業名 (50音順)	総数	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次		第8次		第9次	
			3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
126	高瀬味噌(株)	2															2			
127	高橋金属(株)	2						1		1										
128	(株)棚橋食品	5															3		2	
129	大晃機械工業(株)	1						1												
130	ダイキン工業(株)	1								1										
131	(株)大日金型製作所	4																	4	
132	大日精化工業(株)	1				1														
133	大日化学(株)	4				1		1		1		1								
134	(株)ダイトウ	2															1		1	
135	ダイニック(株)	1								1										
136	(株)大洋	1															1			
137	太洋工作所堺工場	2															2			
138	高畑精工(株)	2								2										
139	竹本油脂(株)	1											1							
140	チーゼル機器(株)	4											4							
141	(株)千野製作所	2			1		1													
142	中部印刷(株)	5													2		3			
143	中部冷間(株)	1																	1	
144	工業技術院化学技術研究所	1																	1	
145	デルタ工業(株)	5					3												2	
146	帝国通信工業(株)	2																	2	
147	デナック(株)	2					1						1							
148	電産(株)	2					2													
149	電工社計測(株)	3											1		2					
150	THK(株)	2					2													



韓国技術者研修第1次～第9次研修員受入企業・受入研修員数一覧表（JICA分）

92.12.11

7/11

No.	受入企業名 (50音順)	総数	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次		第8次		第9次	
			3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
151	㈱電元社製作所	1									1									
152	電子科学工業㈱	1				1														
153	天竜精機㈱	2													2					
154	東京自動機㈱	1																		1
155	東京熱処理工業㈱	1				1														
156	東海興業㈱	2						2												
157	特殊機化工業㈱	1						1												
158	東洋商会㈱	2							1		1									
159	東名化成㈱	1																		1
160	東洋メッキ工業㈱	1														1				
161	東亜ゴム工業㈱	1							1											
162	東亜通信工業㈱	2														2				
163	トップ金属工業㈱	1							1											
164	トルク工業㈱	4							1		1		2							
165	㈱東芝電気事業部	3																		3
166	(有)東英精機製作所	1								1										
167	東洋圧造㈱	1																		1
168	東洋クローム工業㈱	2							1		1									
169	外山工業㈱	2																		2
170	徳山曹達㈱	1									1									
171	㈱西島製作所	1				1														
172	長野味噌㈱	2																		2
173	㈱長野計器製作所	1				1														
174	㈱ナガト	2																		2
175	中田機械技術士事務所	1											1							



韓国技術者研修第1次～第9次研修員受入企業・受入研修員数一覧表（JICA分）

No.	受入企業名 (50音順)	総数	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次		第8次		第9次	
			3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
176	㈱中村金属工業所	1			1															
177	㈱長尾鉄工所	2			2															
178	㈱ニッチ	1																	1	
179	日英精機㈱	2										2								
180	日機装㈱	3												3						
181	日本軽金属㈱	2	2																	
182	日本グリース㈱	1										1								
183	日本電気精器㈱	1															1			
184	日本ファーンズ工業	1	1																	
185	日本ケーブル・システム㈱	12				2				2		3							5	
186	日本プレス㈱	5												2	1				2	
187	新田精工㈱	1			1															
188	日鍛バルブ㈱	1			1															
189	日本曹達㈱	2																	2	
190	日本精蠟㈱	2			2															
191	日進ケミカル工業㈱	1			1															
192	㈱日協製作所	2			1		1													
193	日研工作所	5												3		2				
194	日本特殊陶業㈱	3			1		1			1										
195	㈱日本気化器製作所	2												2						
196	日本無機化学工業㈱	2					1		1											
197	㈱ナブコ（日本I7-ブレーキ）	10					1		2		3		2						2	
198	西原金属工業㈱	1							1											
199	日本ガイシ㈱	1								1										
200	日本通信機㈱	2								2										





韓国技術者研修第1次～第9次研修員受入企業・受入研修員数一覧表（JICA分）

No.	受入企業名 (50音順)	総数	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次		第8次		第9次	
			3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
201	日本電機(株)	1								1										
202	長谷川香料(株)	1			1															
203	羽田ダイカスト(株)	4			1		1		2											
204	浜井産業(株)	1							1											
205	パーカー熱処理工業(株)	1			1															
206	原田鋼管(株)	4							2		2									
207	バンドー精機(株)	3												3						
208	晝田工業(株)	1					1													
209	(株)ヒアブ	1					1													
210	ひさき設計(株)	7							3		2		2							
211	(株)平野精工	2										2								
212	ヒロセ電機(株)	1															1			
213	広島精密工業(株)	2												1				1		
214	藤倉電線(株)	3														3				
215	(株)富士鉄工所	3				2		1												
216	(株)ファイマテック	1													1					
217	(株)プリンティング	1							1											
218	(株)フジコー	1								1										
219	フレックス(株)	1												1						
220	富士シート(株)	3																3		
221	富士テクニカ	2												1					1	
222	古河電気工業(株)	2								2										
223	布谷船用計器工業(株)	1				1														
224	プレス工業(株)	2					2													
225	ブラザー工業	3																2	1	



韓国技術者研修第1次～第9次研修員受入企業・受入研修員数一覧表（JICA分）

92.12.11

10/11

No.	受入企業名 (50音順)	総数	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次		第8次		第9次	
			3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
226	平和産業(株)	2							2											
227	ブルトンチェン(株)	2															2			
228	(株)ベン	1									1									
229	(株)放電加工センター	1										1								
230	ホルベイン工業(株)	1				1														
231	松下電器産業(株)	4	2	1															1	
232	松原紙器(株)	1																	1	
233	丸岩加熱工業所	3													2	1				
234	御国色素(株)	1												1						
235	(有)ミツワ電子	1					1													
236	三芳合金工業(株)	1							1											
237	(株)宮津製作所	1							1											
238	三重ダイヤスト工業(株)	1								1										
239	ミタク工業(株)	3								1		1					1			
240	(株)三ツ星	2									2									
241	(株)ミハナ製作所	1									1									
242	村田発条(株)	2				2														
243	(株)村上製作所	2															2			
244	明和金型工業(株)	1				1														
245	明光化成(株)	2							2											
246	(有)明光社	1									1									
247	本州製紙(株)	1	1																	
248	(株)本山製作所	2				1			1											
249	(株)森谷化学	1				1														
250	(株)八千代工研	3															3			

